

## 予告 語ろう!～食と農のミライ@しろい～

「6次産業」「担い手」「地産地消」「農商工連携」をキーワードに農業や自然を資源と捉え、関わる人たちの未来志向の想いをシェア。ナビゲーターに、地域活性化のための協働コーディネーターや6次産業化プランナーとして活躍されている関東学院大学経済学部教授の中村正明先生を迎えます。さまざまな団体・事業者・個人との協働のカタチを考えていきましょう。

- 日時 11月12日(木) 13時30分～16時 定員15名 (受付開始10月15日)
- 会場 白井市役所東庁舎1階 101会議室



## 地域活動伝わる!伝える!! 広報ツール相談会 8/22報告

広報ツール相談会ではグラフィックデザイナー大澤さんから効果的なチラシや会報作りのポイントを団体毎にアドバイスを受ける機会を提供。具体的で効果的なツール作成のコツを学び、今後のチラシ作りにもすぐに活かさそうです。



グラフィックデザイナー  
gente編集部  
代表 大澤元貴さん

- ◇「誰」に向けて、「何の目的」で作るのか、どんな使い方(配り方など)を考えて作りましょう。
  - ◇文字の大きさにルールを設定しましょう。特大(キャッチコピー)大(見出し)中(本文)小(注書きなど)の4種類くらいを使い分けると、見やすくなります。
  - ◇行間はしっかり開けましょう。読んでほしい流れを意識してレイアウトを組みましょう。
  - ◇紙面に「余白」を取ることが大切です。
- 積極的な質問、丁寧なアドバイス。早速、やってみようという意欲につながったようです。

## 7~8月 開催 はじめてのオンラインミーティング Zoom体験会

「オンラインツール、体験してみたいけれど機会がない」  
「団体活動にオンライン会議を取り入れたい!」との声が多かったことから登録団体を対象にしたZoomの体験会を開催しました。

全員がミーティングルームにアクセスできるまで20分かかる回もありましたが、回数をこなす度に皆さん使いこなせるようになっていきました。

「みなさんお久しぶりですね!」「お元気になりましたか?」  
画面上での再会の喜びから、自然と会話が盛り上がる場面も見られました。マスクを外して気兼ねなくおしゃべりができるのは、オンラインならではの。市民活動においても、コミュニケーションの新しい形として今後根付いていくのではないかと感じています。

まちサポでは、今後もオンライン講座や交流などを検討中です。団体への個別サポートも行っていますのでお気軽にご相談ください!



### 【印刷マスター塾】

まちサポ作業スペースの印刷機・紙折機・丁合機などの便利な使い方をレクチャーしています。(要予約)ご希望の方はまちサポまでお問合せください。

### ◇今年度の「まちサポひろば」の開催について◇

今年度は形を変えた企画を検討しています。団体同士のつながりを絶やさず、それぞれが活動継続と発展に向け、高め合える機会の創出を目指します。

まちサポ通信 VOL.13 発行日: 令和2年9月15日  
発行元: しろい市民まちづくりサポートセンター  
住所: 白井市榎1123 白井市役所 東庁舎1F  
TEL: 047-401-3729 (直通) 祝日のみ休館  
MAIL: machisapo@city.shiroi.chiba.jp



市民活動の最新情報・まちサポ発の企画や日々の出来事を発信中です。

FB しろい市民まちづくりサポートセンター

検索

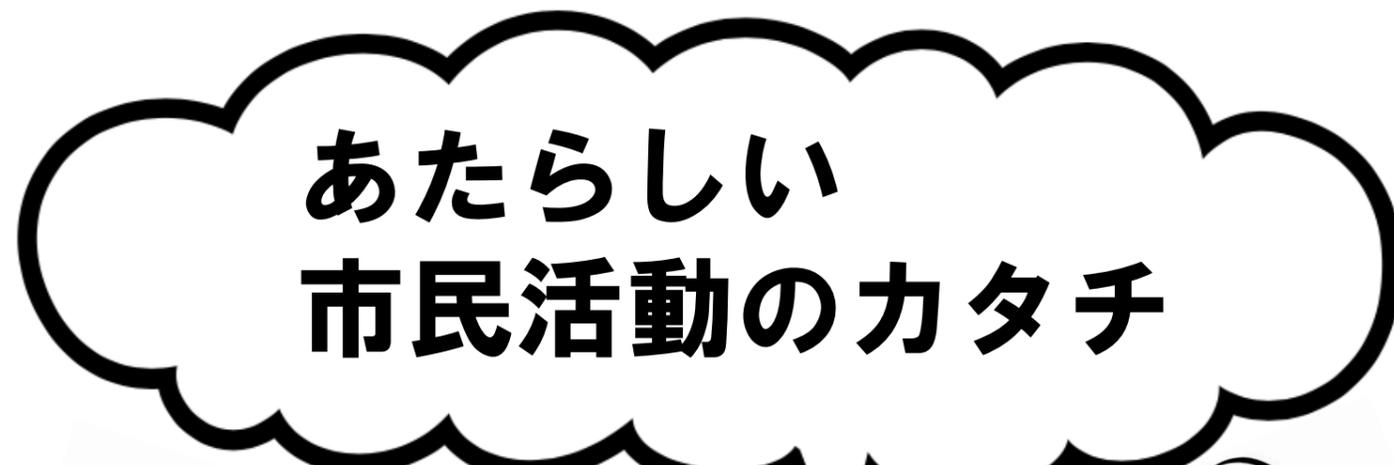
みんなの

つなぐ、広げる

# まちサポ 通信Vol.13

## 主な内容

- コロナ禍における市民活動団体アンケート調査報告
- 今だからこそ!新しい取り組み
- まちサポ発 企画・イベント



# あたらしい市民活動のカタチ

オンライン会議  
やってみた!

これからの活動、  
どうしよう?

## ピンチをチャンスに! チャレンジに!

感染症のリスクから、市民活動、地域活動も今までの活動の変化を余儀なくされました。活動への影響と今後の課題について把握するため、まちサポでは市民活動団体を対象にアンケート調査を実施。

集計結果からは、「新しい取り組み」や「工夫」にチャレンジしながら活動を継続しようとする団体の姿が、浮き彫りになりました。物理的距離を保つ必要があるからこそ、「つながり」は大切。その気づきを糧にウィズコロナの時代をどう乗り切るか? 地域のつながりをいかに展開していくか?

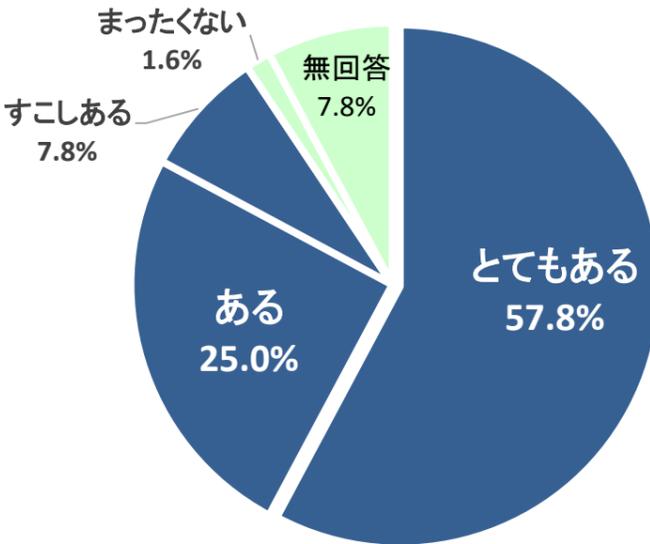
「継続」から「適応」「進化」へと活動が変化していく未来への予想図を描くため、知恵を出し合い共に乗り越えていく。新たな価値の創出を考えていきましょう。

# コロナ禍における登録団体の活動状況と「まちサポひろば」に関するアンケート調査

調査対象: 95団体  
 調査時期: 7月7日～31日  
 回答: 64団体 / 回答率67.4%

活動の維持・継続・再開を迷われている団体、活動再開の課題を模索中の団体、新たな取り組みや工夫をした活動を実践されている団体の現状と、今年度のまちサポひろば開催について意向を調査しました。その結果を一部抜粋してお知らせします。  
 (調査結果の詳細は白井市ホームページで閲覧できます。)

## Q 団体活動への影響はありましたか？



### 活動への影響について

- ・コロナ禍の影響を受けた団体は90%を越えた。
- ・自主事業の中止などは70%以上。それに伴い収入減少や活動意欲の低下も見られた。
- ・一般参加の募集を取りやめ、活動規模が縮小した。
- ・会員同士の顔合わせができないことで、活動意欲が下がった。
- ・総会を実施するために、規約にない方法で議案の承認を取らざるを得なかった。

### 新たな取り組み・工夫について

- ・オンラインツールの活用(LINE、Zoom等)25%の団体が活用
- ・活動するにあたり、感染対策の方針・ルールを共有し、実施した。
- ・飲食を伴わない活動へと事業の内容を再検討した。
- ・屋外での活動などリスクの少ない内容にシフトチェンジした。
- ・集合して実施する活動は避け、個人でできる作業を多く取り入れた。

他の団体が工夫しながら活動を続けていることに勇気をいただきました。



千葉ニュータウン友の会 眞部さん

### 現在の状況と今後の活動の見通しについて

- ・事業の見通しが立たない団体は40%。
- ・半数は活動の見通しを持ちつつある。
- ・12月までは活動ができない。
- ・幹部のみで会議を行っており、全体の会合は実施していない。
- ・事業内容を絞って活動を続けている。
- ・当面はリモート会議で活動を継続する。

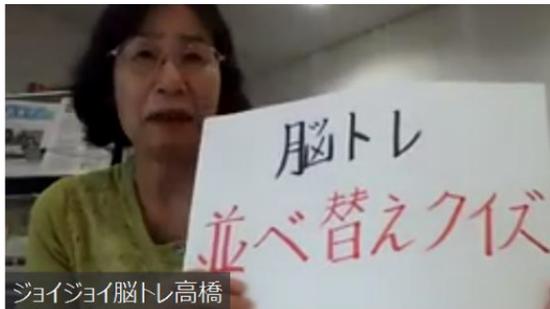
### まちサポに相談したいこと

- ・Zoomミーティングのノウハウを教えてください。
- ・自団体でのオンライン会議、WEBセミナー主催に向けての体験会を開催してほしい。
- ・会議室の継続解放
- ・休館中に印刷室が使用禁止となり困った。感染防止基準を設け、対策を打ち出した上で利用を保持して欲しかった。
- ・(休館中の)施設利用振り替えなど対応がありがたかった。
- ・活動継続している団体の取り組みや情報提供をお願いしたい。

### 「まちサポひろば～市民交流DAY～」今年度の開催について

- ※登録団体の有志で実行委員会を結成し開催した市民交流イベント
- ・今年度は中止・わからないはともに40%。
- ・見直して開催は10%。
- ・見直して開催の意見として規模や対象者の縮小、開催の時期の工夫が多い。

## 市民活動「今だからこそ！」新しい取り組みも生まれています。



### 【オンラインで脳トレクイズ】 まちサポZoom体験会にゲストで参加 介護予防推進ジョイジョイの会(高橋さん)

介護予防推進講座第一期生で、地域に役立ちたいと会を結成して7年目。地域サロンや公民館などで介護予防の脳トレや体操などを広める活動を続けてきましたが、感染リスクの懸念から全ての活動が中止になりました。

「今回、オンラインでの脳トレにチャレンジすることになり、参加者の皆さんが一生懸命考えたり、楽しんでいただいたことで、オンラインでの新たな活動の可能性を見出すことができました。思い切ってオンライン上でのパフォーマンスにチャレンジして良かったです。」と、次につながる活動が見出せました。



### 【役員会をオンラインミーティングに切り替え。 主催セミナーもオンラインで！】 白井再生可能エネルギー協議会 北澤さん

感染症対策のために、打ち合わせをオンラインミーティングに切り替えたとの団体の声も聴かれます。まちサポでは現在、市民活動団体のZoom活用について個別サポートも実施中。

白井再生可能エネルギー協議会の北澤さんは、役員会がオンラインに切り替わったことから「Zoomの使い方を学びたい！」と来所。その後のZoom体験会にも積極的に参加され、使い方をマスターしました。会の主催事業もオンラインに切り替えて実施するそうですが、オンラインだからこそ、新たな出会いに期待です。

### 【あたらしいイベントのかたち 「里山ひろば」開催に向けて】 NPO法人しろい環境塾 渡邊さん

平塚地区の里山保全・環境教育活動を続けて今年で20年のNPO法人しろい環境塾。例年、平塚のベースキャンプで開催している「里山まつり」では、地域の団体を招いてのステージ「森の音楽界」や様々な飲食ブースを設けて、賑わいあるイベントを開催しています。しかし、今年は感染症対策のため開催を見合わせることに。

そんな中、「今できることは？」に着目し、内容を変更してイベントを開催することにしました。なつかしい旧平塚分校の教室と校庭を利用し、活動の写真展示や竹・わらを使ったワークショップ、旬の収穫物や手作り品販売に力を入れます。さらに、第二小学校区のカルタ展示や「第二小学校区宝物マップ」を配布。マップ片手に会場周辺のおススメスポットの散策もできます。(公民センター協力)

「賑わい・交流」の場づくりに制約がある中、「展示」「ワークショップ」「販売」に力を入れ、しろい環境塾の活動の魅力を十二分に味わえるイベントになりそうです。



日時 10月10日(土)10～15時(小雨決行、荒天中止)  
 会場: 旧平塚分校(白井市平塚960) 駐車場有  
 参加 無料

- ・平塚周辺の風景、しろい環境塾の活動紹介写真展示
- ・家族で楽しめる工作・ワークショップ
- ・地元野菜や産品・手作り品の販売

詳細は「NPO法人しろい環境塾」ホームページから  
 問合せ TEL 047-404-3298(月・水・土10～15時)



理事長 渡邊さんのおススメは、休耕地で栽培した小麦で作った「うどん」

ゆで落花生や栗の渋皮煮など季節の味覚や定番の竹炭、竹細工も取り揃えてお待ちしております。